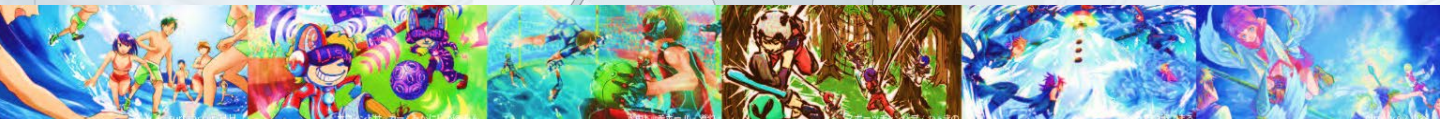


参加者・参加チーム募集

1st Call for Superhuman Sports Grand Challenge

主催：一般社団法人 超人スポーツ協会

<https://superhuman-sports.org/challenge/>

超人スポーツ グランドチャレンジ とは

身体を拡張するテクノロジーを身に纏う人機一体の「超人化技術」により、人の身体能力を超えていこうとする試みです。人と技術が一体となる新たな超人化テクノロジーの開発と記録への挑戦を行うことを通じて、人を助け、人の可能性を拡張する超人化技術を培い、身体の制約を超えた未来社会を創造しましょう。第1回となる2020年は「走る」「力と器用さ」「感覚」の3つの領域に取り組みます。

Super PHYSICAL Challenge ルール概要

人の力強さ／俊敏さ／巧緻さ／持久力をバランスよく高めた SUPER PHYSICAL HUMAN を実現する

■ 競技形式：バーベルを使ったタイムトライアル形式イライラ棒

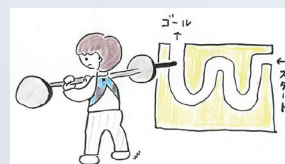
スタート：地面に置かれたバーベルを持ち上げてコースに侵入したとき

ゴール：バーベルがコースゴールを通過したとき

※ 迷路の壁にバーベルが当たるとタイムペナルティを受ける

■ 超人化装置に対する条件

人が背負う・着用する形式の機材。プレイヤーが1人で自律的に歩行／走行することで移動する超人化装置の一部が接地しても構わないが、装置を天井、床や壁、台車などで支えてはならない。バーベルへの直接的な加工はNG



Super SPRINT Challenge ルール概要

ただ純粋に速く走ることを目指して、ヒトと技術の人技一体による SUPER SPRINTER を実現する

■ 競技形式：200メートル走のタイムアタック

日本陸上競技連盟 200メートル走ルールに従う <https://www.jaaf.or.jp/taikai/695/sp/highlight/index.html>

選手の体の一部がゴールラインを通過した時点でゴール

■ 超人化装置に対する条件

選手が静止時に自立できること。スタート時に選手は静止していること。緊急強制停止装置を有すること。選手または装置がレーン（通常のレーンより広い幅を想定）よりはみ出してはいけない。乗り物（一部でも車輪が接地するもの）やフィールドを破壊するような装置は使ってはいけない

Super SENSE Challenge ルール概要

感覚を拡張するテクノロジーを身にまとい、視覚に頼らない「超感覚 | SUPER SENSE」を実現する

■ 競技形式：「暗闇迷路」～目隠し状態で迷路をスタートからゴールまでクリアする時間を競う

マウス競技で用いられるような迷路の等身大版を想定

■ 超人化装置に対する条件

モバイル／ウェアラブルな形態の保持／装着したまま競技参加が可能な装置を想定。視覚的な情報提示はNG。外部から人が直接指示を行うことはNG。通信接続はOK。

スケジュール（予定）

2020年4月	参加登録締切	
2020年5月	ルールミーティング・企画書提出	
2020年6月	採択通知	
2020年7～9月	実証実験・試走会・エキシビション	
2020年秋	グランドチャレンジ開催	(※諸行事の日程や会場は検討中)

参加登録方法

ご興味のある方は、まずはホームページ <https://superhuman-sports.org/challenge/> にある登録フォームより、ご連絡先をご登録ください。イベントやルール詳細のアップデートを随時ご連絡いたします。

グランドチャレンジ大会長 稲見昌彦（東京大学）、持丸正明（産総研）
 グランドチャレンジ実行委員長 栗田雄一（広島大学）、田中孝之（北海道大学）
 ディレクター PHYSICAL: 田中孝之（北海道大学）、土谷圭央（苫小牧高専）
 SPRINT: 村井昭彦（産総研） SENSE: 南澤孝太（慶應義塾大学）
 ルール策定委員会：五十嵐広希（玉川大学）、野嶋琢也（電気通信大学）
 お問い合わせ先 academy_contact@superhuman-sports.org